

女性活躍促進事業【福島県】

地域の実情と課題

本県では総務省が公表した2017年の人口移動報告における転出超過が全国最多の8,395人となるなど、少子高齢化の進展に加え、震災後の人口流出により労働力不足が顕著である。このような中、労働力人口を確保し、持続可能な地域社会を築いていくためには、女性が働き続けることができ、活躍できる社会を形づくっていく必要があるため、「ふくしま女性活躍応援会議」と連携しながら、女性が活躍できる環境づくりを進めている。しかしながら、組織トップの女性活躍推進の必要性・有用性への理解や、男性の家事・育児・介護への参画促進などまだまだ解決すべき課題がある。

事業の特徴

- 1 ふくしま女性活躍応援会議
応援会議のネットワークを活用し、構成団体及び会員企業等における女性の就業環境の整備や女性の登用に向けた取組を促進した。
- 2 シンポジウム及び勉強会の開催
女性活躍や働き方改革、男性の家事・育児・介護の参画促進をテーマとしたシンポジウムを開催し、その内容を広く県民に情報発信した。
- 3 勉強会の開催
シンポジウムを契機に、女性活躍の必要性を理解した企業の経営者や管理職等を対象に、女性活躍推進の具体的な手法を学ぶ勉強会を開催した。
- 4 男性の家事・育児・介護への参画に関する情報発信
性別役割分担意識の解消を図り、職場や家庭における男女の意識改革を進めるため、男性の家事・育児・介護への参画について、広く県民に情報発信を行った。

目的・目標

- ・ふくしま女性活躍応援宣言賛同企業・団体数 H29年度 178(H30.2月末現在) → H30年度 230(H31.3月末現在)
- ・市町村における男女共同参画計画の策定率 H29年度 31市町村 52.5%(H30.2月末現在) → H30年度 39市町村 64.4%(H31.3月末現在) 8町村の増となった。
- ・次世代育成支援企業認証数 H29年度 501社(H30.2月末現在) → H30年度 581社(H31.3月末現在)
- ・県の審議会等における女性委員の割合 H29年度 35.6%(H30.2月末現在) → H30年度 36.2%(H31.3月末現在)

連携団体

- ふくしま女性活躍応援会議構成団体
- 【経済団体】福島県商工会議所連合会、福島県商工会連合会、福島県中小企業家同友会、福島県経営者協会連合会、福島県中小企業団体中央会
 - 【農林水産業】福島県農業協同組合中央会、福島県漁業協同組合連合会、福島県森林組合連合会
 - 【建設業】福島県建設産業団体連合会
 - 【医療福祉】福島県医師会、福島県社会福祉協議会
 - 【教育】アカデミア・コンソーシアムふくしま
 - 【労働】日本労働組合総連合会福島県連合会
 - 【地域活動】福島県女性団体連絡協議会
 - 【国】福島労働局
 - 【市町村】福島県市長会、福島県町村会
 - 【県】男女共生センター、福島県

事業の効果

- 1 ふくしま女性活躍応援会議構成団体における女性活躍の取組に関する情報を共有するとともに、課題について認識を深めることができ、県における今後の取組につながるものとなった。
- 2 シンポジウム及びフォローアップセミナーの開催により、女性活躍や働き方改革、男性の家事・育児・介護への参画に関して理解を深めるとともに、意識の醸成につながった。
- 3 男性の家事・育児・介護への参画に関する必要性やメリットなどを、経験者の実体験に基づくコラムという形で発信することにより、これまで家事・育児等に参画してこなかった男性に対する気づきを提供することができた。

今後の課題

平成28年7月にふくしま女性活躍応援会議を立ち上げ、女性活躍推進に関する取組を進めてきたが、組織のトップの女性活躍推進の必要性・有用性への理解が十分ではないことから、引き続き企業経営者等の意識改革を促進する必要がある。また、本県における市町村の男女共同参画計画策定率は66.1%(H31.3月末現在)と低い水準にとどまっており、職場・家庭・地域において、「家事・育児・介護は女性の役割」という性別役割分担意識も根強く残っていることから、市町村の取組を促進する必要がある、そのための施策を推進していく。

事業の概要

1 ふくしま女性活躍応援会議

県と県内のさまざまな分野の団体が官民一体となり、あらゆる分野で女性が活躍できる環境づくりを進めるため、応援会議及び幹事会を開催した。

【実施状況】

(1) 幹事会

第1回:平成30年4月27日(金)(内容:H29年度の取組状況、H30年度の取組について)

第2回:平成30年8月29日(水)(内容:H31年度のふくしま女性活躍応援会議の取組について)

第3回:平成31年2月12日(火)(内容:H31年度のふくしま女性活躍応援会議の取組について)

(2) 応援会議

開催日:平成30年8月2日(木)

内 容:ふくしま女性活躍応援会議の今後の取組について

2 「女性も男性も輝く未来づくりシンポジウム」の開催

応援会議と連携し、企業の経営者・管理者や市町村長等を対象に、女性の活躍促進や働き方改革、男性の家事・育児・介護への参画等をテーマとした講演会を実施するとともに、トークセッションを行った。



ふくしま女性活躍応援会議

事業の概要

開催日:平成30年8月2日(木)

場 所:福島県男女共生センター

参加者:約270名

内 容: i 講演会

講師:NPO法人ファザーリング・ジャパン理事 川島高之氏

演題:「誰もが活躍できる職場で、利益と笑顔がアップ」

ii トークセッション

テーマ「女性も男性も輝く福島を目指して」

コーディネーター:川島高之氏

出演者:東邦銀行(株)取締役頭取 北村清士氏

カルビー(株)執行役員 福山知子氏

福島県知事



「女性も男性も輝く
未来づくりシンポジウム」

3 女性活躍の具体的な手法を学ぶ勉強会の開催

「女性も男性も輝く未来づくりシンポジウム」フォローアップセミナーを実施し、女性活躍の推進や働き方改革等の取組を考えている企業・団体の経営者や管理職等を対象に、女性活躍推進先進企業による事例発表を行った。

開催日:平成30年11月14日(水)

場 所:男女共生センター

参加者:企業・団体の経営者等(25名)

講 師:株式会社ナプロアース(福島県伊達市)

菅原運送株式会社(山形県)

株式会社ユーメディア(宮城県)



フォローアップセミナー

4 男性の家事・育児・介護参画に関する情報発信

福島県女性活躍応援ポータルサイト「キラっ人☆ふくしま」に「カジダン」ページを追加し、男性の家事・育児・介護への参画に関する記事を掲載することにより、県民の意識の高揚を図った。

運用開始日:平成30年11月21日～

内容:NPO法人ファザーリング・ジャパン東北の横田代表理事監修のもと、男性の家事・育児・介護参画の必要性やメリットに関するコラムの掲載等を行った。

カジダン